



22号の主な内容

広沢土地倉庫株式会社「デイズタウン」	2
女性会員の「なかよし会」	3
世界初！水槽でチョウザメの完全養殖	4
研修視察に参加して	6
そば打ちを通して復興支援に	7
冬季剪定講習会	8
付記・ご案内	8

〈企業訪問〉

広沢土地倉庫株式会社 「デイズタウン」

好天に恵まれた2月下旬、つくば市中心街の高層ビルが林立する竹園1丁目、つくば国際会議場」にほど近い、ショッピングセンター「デイズタウン」の4階にある広沢土地倉庫株式会社つくば支店を訪問し、「デイズタウン」管理責任者の方からお話しを伺いました。

ショッピングセンターである「デイズタウン」は市内では歴史のある年中



広沢土地倉庫(株)つくば支店は「デイズタウン」の4階です



屋上、ショッピングセンター名「DAYZTOWN」がよく見えます



屋上からビルへの玄関口
広い駐車場には綺麗な植込みがあります

〈案内〉

〒 305-0032
つくば市竹園 1-9-2 デイズタウン 4 階
TEL 029-853-1234 (代表)
FAX 029-860-5177

無休の複合型ショッピングセンターです。竹園西公園側の広い駐車場（平面駐車場と称しています）とビルの2階から4階の各フロアに駐車場があり700台の車が収容できます。地下1階から4階には、大手スーパーマーケット・ドラッグストア・ゲームセンター・カラオケ・25店舗の飲食店・貸しイベントホールなど数多くのお店が入っています。つくば支店はショッピングセンター「デイズタウン」の総合的な施設管理をおこなっていますが、市内のほか都内・茨城県・栃木県などにビル・マンション・倉庫があり、不

動産賃貸を中心として事業を展開しています。

「デイズタウン」にはシルバー人材センターの会員が「施設管理業務」として就業の機会をいただいております。シフト表に従い毎日、午前の部・午後の部の当番として対応しております。一人が就業する日は週に2日から3日くらいでしょうか。今日は午後の当番でたまたま就業していた会員 川上陽一さん（70）に、管理責任者の許可をいただき忙しい時間の合間をぬってお話しを聞かせてもらいました。シルバーの会員になって3年目に入ります。



“おつかれさまです” シルバーの会員、川上陽一さん

仕事はショッピングセンター共用部分のはき掃除、朝は平面駐車場とビル駐車場のスロープとビルの外周なども綺麗にしますが、朝はポイ捨てのタバコの吸い殻、ビンや缶などが捨てられているときもあり綺麗にします。入っているお店やイベントホールをご利用のお客さんに「デイズタウン」を気持ちよく訪れていただくよう気持ちを込めて隅々まで掃除をします。はき掃除を中心としてその他おこなう仕事は多岐にわたっていてやりがいがありますと熱く語っていました。

そして同社は不動産業を中心に「デイズタウン」とともに、発展するつくば市を支える存在となっております。

女性会員の「なかよし会」

谷田部地区 杉本信子

息子たち家族が住むつくば市に来てから5年がたちます。関西で生活して70年、茨城のことは全く知らず、知人・友人もなく、土地柄も分からず友達ができるか不安で一杯でしたが、同年代の友達を作るには「シルバー人材センター」が一番の近道と考え入会しました。



楽しいおしゃべりのひととき

谷田部地区には「なかよし会」という女性会員の会があり、右も左も分からない私を熱心に誘って下さいました。

集まりは谷田部老人福祉センターで3か月に1回あり、お茶にお菓子や差し入れの美味しい漬物を食べながら、仕事のことやいろいろ思っていることなどを、親睦をはかりながら楽しくお喋りをしています。また、教えてもらいながらボランティアで布草履や巾着の給食セット等を作っては寄付したり、小さな社会貢献もできています。

会を重ねる毎に皆さんの気心も分かります、自然と仲良しになります。「なかよし会」で私は素晴らしい友だちに出会えたことに、とても感謝しています。

新年会はお弁当を取り、カラオケ大会で大いに盛り上がり楽しい時を過ごしました。会ができた発端は、故田口地区長の女性会員増強の要望がありスタートしました。「なかよし会」と命名され、電話作戦や自宅訪問等、発起人の方々の努力が実り、1月末現在会員数51名ほどで参加者は20名にもなります。女性会員が一人ひとりと増えることは大歓迎です。会で楽しい時を過ごしましょう、お待ちしております。



チョウザメ養殖事業の要として活躍している平岡特任主査



株式会社フジキン 万博記念つくば先端事業所の全景。チョウザメの養殖施設がこの中に設けられています。*写真は株式会社フジキン提供



チョウザメ養殖施設

〈“キャビア・フィッシュ（超ちょうざめ）”
のお問い合わせ〉

住所：株式会社フジキン

万博記念つくば先端事業所

〒305-0841 茨城県つくば市御幸が丘 18

電話：029-856-3301（代）

FAX：029-860-6531

〈株式会社フジキンのホームページ〉

<http://www.fujikin.co.jp>

〈ものづくり企業日本一〉を 目指す！ 世界初！水槽でチョウザメの 完全養殖

これは未知の分野に挑戦した企業の奮闘記です。シーラカンスと同じ約三億年前の古生代から存在するといわれるチョウザメの完全養殖、企業化に日本ではじめて成功した民間企業が株式会社フジキンであり、その研究、生産拠点が、つくば市内にある万博記念つ

くば先端事業所です。

フジキンは、戦後、大阪の町工場でバルブの製造を始めてから、いまではバルブ・継手の製品で世界的に高い評価を得ているメーカーです。主力製品は精密ながれ（流体）制御機器を主体とした超精密バルブ機器で、宇宙ロケット、海洋開発、半導体製造プロセス、化学、バイオプラント、新エネルギーなどに欠かせない機器を生産していることで知られています。

今年初、同事業所のライフサイエ

ス創造開発事業部特任主査平岡潔氏が、技術士（水産部門）として行ったチョウザメ養殖の講演を記者が聞いて、養殖（技術）からセールス（営業）までこなす話に感銘をうけたのがきっかけです。

1987年、フジキンの最高顧問だった西堀榮三郎氏から、「誰もやってないチョウザメの養殖を、大手の会社ではなく、中小メーカーのなかでも先端事業に優れた技術と企業センスをもつフジキンで、自社のバルブを利用



徹底した水質管理のおかげで、水槽内で多数の飼育がチョウザメたち *株式会社フジキン提供

してやってみないか」との話が当時の社長にありました。こうしてトップダウンによる新事業がスタートすることになったのです。西堀氏は、第一次南極越冬隊長、統計的品質管理（QC）の普及によるデミング賞受賞で有名です。

チョウザメの研究拠点を、関東地区の生産拠点であるつくば市内の新工場予定地に設け、ソ連（当時）産のベステル種を使い、1992年にはチョウザメの人工孵化に成功しましたが、稚



チョウザメの由来とされるうろこ

魚をどう育てるかなどの問題が山積でした。

1993年、大学で水産学を専攻した平岡氏がフジキンに入社し、バルブの技術なども学びながら、つくばでの養殖事業に携わりました。当時フジキンでは、実際に養殖から実業化まで学んだ経験のある新人を必要としていたのです。

つくば市では、場所や水の確保に大きな制限があったので、上水道の水を使い、完全クロード循環方式によ

り、飼育水槽内の水を生物ろ過槽で浄化し、また水槽に戻すという方式を採用しました。このときにフジキンのながれ（流体）制御技術が役立ったのです。節水にもつながりました。

1998年には、世界ではじめて水槽での完全養殖に成功し、エサ、「淡水臭」などの問題も解決しながら、実用化に近づいていったのです。オスは食肉用、メスはキャビア用として、地域資源の有効利用に役立っています。

軟骨魚類のサメ科サメとはまったく異なる種類であるチョウザメは、全骨魚類のチョウザメ科に属し、主に淡水に住んでいます。名前の由来は、背中のウロコが蝶々の羽に似ているからだといわれています。成長すればおとなしい大型魚となり、鼻の下にある四本のヒゲで水底のエサを探す姿は、古代魚そのままです。

なおフジキンでは、サメと混同されるのを避けるため、フジキン産のチョウザメを「キャビア・フィッシュ（超ちようざめ）」と名づけました。

フジキンの「獲るから育てる」方法は、食の資源確保と持続可能な漁業を考える上で、一つの方向を示すものではないでしょうか。

研修視察に参加して

谷田部地区 板橋範男

つくば市高齢者労働能力活用事業の一環として、つくば市シルバー人材センター谷田部地区では、会員同士の交流促進や就業意欲の向上を目的に、11月16日「研修視察と工場見学」を実施しました。参加者は当センター理事長、事務局長を始め22名。研修先は「石岡地方広域シルバー人材センター」（午後）、見学先は「カゴメ茨城工場」（午前）です。

石岡広域シルバー人材センターは、石岡市と小美玉市で構成され、つくば市より人口が少ないにも関わらず、会員数は約1,050人とつくば市の1・6倍もおおられます。

石岡広域シルバー人材センターでは、太田事務局長、岩波次長から事業概要や独自事業（花苗栽培、産地直売所、瓶詰食品製造、グリーンパ



レス石岡（宿泊・研修施設）の運営状況について説明を受けました。こちらでも私が当センターの状況を説明して、お互いの情報を交換し合いました。質疑応答も活発に行われ、私達が大変関心のある独自事業運営はご苦労されておられる様子で、今後私たちが新たな独自事業を行う場合の参考になりました。

新年会参加者が約300名、東京への日帰りバス旅行の参加者が約150名とお聞きし、参加意識の高さに感心しました。

午前中は小美玉市の「カゴメ茨城工

場」を見学。野菜ジュース、乳酸菌飲料の製造ラインを見学しました。

試飲や土産、記念写真付きで楽しんで見学出来るよう工夫されておりました。また、カゴメ商品に関心が高まりました。

見学後レストランに移動し、昼食を食べながら日頃出会いにくい会員同士が歓談し、お互いに交流して活躍を励ましあいました。

他市の状況を視察するのは初めてでしたが、色々と参考になり、刺激も受けました。今後もこのような企画が数多く開催されることを期待します。

〈笑顔を見るのが嬉しい〉 そば打ちを通して、復興支援に 少しでもお役にたきたい

入会してまだ年数は浅いが熱心にシルバーの仕事に取り組んでいる細淵賢三さん（68）、趣味として始めたそば打ちは30年になるそうです。

最初は打つことが楽しみでしたけど今は「そば道」と言いましょか「剣道、柔道」の「道」にも通じるものとして極めたいとお話しされていて、道を意識し始めて10年位でしょうか、次の段位にチャレンジしま

すと熱く語ります。そば打ちにも段位があるんですね、奥が深いというか・・・そう語ってくる口調におもわず身を乗りだしてお聞きさしました。

ご自身は埼玉県の出身ですがつくば市に住み始めてから40年になります。住まいの近くにそば作り研究会があり、そば



シルバー会員の細淵賢三さん、そば打ちのことをいろいろお聞きしました



道場の雰囲気があります、そば打ちの練習



道具は決められた位置に置きます

打ち体験もできることから本格的に取り組み始めたようです。シルバー会員になる前は農水省の研究所で「そばの生育研究補助」をしていて当時からそば打ちを行っていました。このたびはそば打ちの練習にお誘いを受け、記者は見学者として参加しました。初心者に丁寧に説明指導する指南役の高段位者、そして次の段位に挑戦する人たちが一人で黙々と練習に励んでいます。そば粉をこね鉢にふるって少しづつ加水してからこねはじめ、麺棒で平たく伸ばし、最後に専用の包丁で一定

の細さに切り仕上げますが完成まで大体40分位で一定してしています。できあがった打ちたてのそばは近所や知り合いに分けています。また東日本大震災から7年になりますが、被災地の宮城県石巻市に復興支援として仮設住宅で毎年秋にそば打ちボランティアを行なっているそうです。去年より今年という具合に復興してくるのを実感します。そして被災者の皆さんが笑顔で打ち上ったばかりのそばをすすっている姿に私も嬉しくなります、と語る笑顔が印象的でした。

〈剪定・草刈班がゆく〉 〜冬季剪定講習会

今年の冬は厳しい寒さが続き、悪性の風邪やインフルエンザが大流行。そのような状況で「冬季剪定講習会」が1月下旬に開催されました。1日目の机上講習会は昼頃から降り出した雪で早めに切り上げました。その夜は大雪です。実技講習会は1週間ほど延期を余儀なくされました。

机上講習会は「接遇研修」。接遇の大切さに会員も真剣に聞き入り、質疑応答では活発に質問が続きました。1週間遅れでスタートした実技講習会場は、昨年もお世話になった谷田部



朝礼、日差しはあるが朝は空気が冷たい



協力して、みんなでやります

地区にある民家の広い庭です。積もった雪が早く融けるよう熊手でかき、剪定に臨みました。近年にないことです。剪定を希望する会員を募集しています。未経験者でも気軽にどうぞ、事務局までお問い合わせください。お待ちしております。

〈付記〉

表紙の写真、水面に白鳥が優雅に浮かんでいます。牛久沼（竜ヶ崎市）や東谷田川（谷田部、茎崎を流れています）に住みついていきます。近づくと大きく口をあげ威嚇してくる姿を見ることがあります。

左下は、可憐に咲いていた「天空に咲く水仙」です。2月に企業訪問で訪ねた「デイズタウン」屋上の花壇に咲いていたのをパチリ。房咲きでシンプルな美しさの「ニホンスイセン」でしょうか。

〈ご案内〉

入会説明会は次の通り行ないます。入会をご希望の方は、直接説明会場にお越しください。お問い合わせは、電話で受け付けております。ホームページにも掲載しております。

開催月日	時間	会場
5月10日(木)・6月14日(木)	午後 1時30分	シルバー人材センター会議室
7月12日(木)・8月9日(木)		(大穂庁舎3階会議室)
9月13日(木)・10月11日(木)		桜総合体育館
4月26日(木)		

◆きずな原稿募集
「きずな」の原稿を随時募集しています。就業先での出来事や体験談、身近な出来事等々、お待ちしております。投稿いただきました原稿を掲載した場合、些少ではありますが掲載謝礼をご用意いたします。